



学 校 だ よ り

7月号

令和8年6月30日

NO. 439

横浜市立茅ヶ崎小学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標

自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子

じっくりとゆったりと

校 長 高橋 美都子

6月初旬にプール開き集会を行ったものの、なかなか天候に恵まれない水泳学習ですが、6月最終週に入り少しずつ実施できるようになってきました。とはいえ、まだまだ取り組めない日も多く「校長先生、プールはいつになったら入れるのでしょうか。」と声をかけられると、なんだか申し訳ない気持ちになってしまいます。校庭での外遊びは盛んで、休み時間にはにぎやかな声が校長室まで響いてきます。

さて、雨が降ると、遊歩道の端に水たまりができます。長靴をはいた1年生や2年生は、ここぞ!とばかりに水たまりに入って感触を確かめます。傘で突いたりもして実に真剣です。水たまりには不思議な魅力があるのでしょうか。前に進んだり、下がったりしながら水たまりからいつまでも出てこない子に声をかけるのは、ためられるのですが、「そろそろ、教室に行こうか」と促すこともあります。

また、数人でしゃがみ込み、頭を突き合わせてじっと地面を見ている子たちもいます。アリなのかダンゴムシなのか、子どもにとって魅力的な生き物はたくさんいます。「何がいたの?」と聞くと、ロタに見ていたものの説明をしてくれます。

茅ヶ崎公園は子どもたちにとって宝庫です。6月に入った頃から、クワガタやカブトムシ、小エビを虫かごに入れて持って来る子が増えます。時には捕まえたそのまます、大事に教室まで持って上がる子もいます。声をかけると実に大切に話をしてくれます。

毎日の生活は、どこことなく忙しく、気になることにじっくり取り組んだり、ゆったりとした時間を過ごしたりすることが難しいこともあります。そんな中、心をとらえた場面を十分に味わい堪能することが、私たちの気持ちの栄養になってくることを感じます。

後、3週間ほどで夏休みに入り、子どもたちは家庭や地域に帰っていきます。この時期にしかできない、じっくりとゆったりと自分のペースで取り組める活動ができるようになるでしょう。たっぷりとした時間を使って貴重な体験からたくさんの学びを得て、8月末に、笑顔で学校に戻ってくるように願っています。

ボツワナ共和国国際理解教室

6月24日(水)にボツワナ共和国大使・書記官にご来校いただき、3年生に国際理解教室を行いました。大使から3年生へ向けて、他の国や人を受け入れ、関心を持ち理解し合うことの大切さをお話いただき、書記官からはボツワナの国や国旗、動植物や生活の様子について教えていただきました。佐々田都筑区長も参加してくださり、有意義な時間を過ごすことができました。今後はボツワナ共和国ベン・テマ小学校と絵画交流を行います。

GPS 端末使用について

6月30日付けて、GPS 端末の使い方について、すぐーるで配信します。お子さんをご確認をお願いします。